

GOLDを主成分とするバイオマテリアルについて

快適生活は安全性の高い優れた歯科材料から

良い歯科材料の条件とは？

微生物の活動が活発なうえ、食物の塩分や酸にさらされ、噛むたびに約10kg～50kgの力がかかるといった苛酷な環境で使用する歯科材料には、高度な品質が求められます。専門の学会は良い歯科材料の条件として以下の点をあげています。

- 人体に無害
アレルギーなどを起こさない
- 口の中で腐食しにくい
- 耐久性がある
硬さだけでなく弾性があり、
金属疲労を起こしにくい



セラモメタルブリッジ舌側面（裏側）

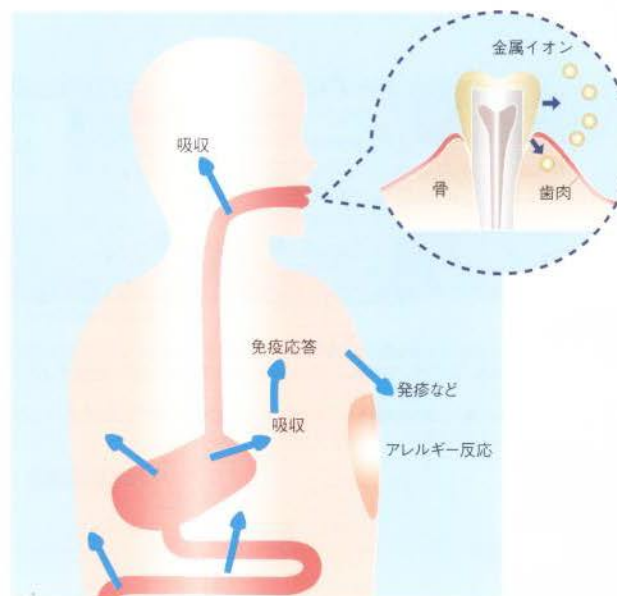
良い材料の条件をクリアした 高カラット金合金

からだになじみやすく、化学変化が起こりにくいのは金です。しかし、純金は柔らかすぎて耐久性がないので、金の長所を生かしながら強度と弾性を与えるため、白金など貴金属元素との合金が使われています。そのうち金を65%以上含むものが高カラット金合金です。高カラット金合金は「良い歯科用金属材料の条件」を満たす、すぐれた歯科材料です。



金属アレルギーが心配なのですが、 歯の修復材料でも起こりますか？

金属アレルギーは、イオン化して溶けだした微量の金属が体の中に入り、異物に反応する免疫システムが過剰にはたらいた状態です。歯科用金属でも、皮膚の発疹などのアレルギー症状が起こることが、ごくまれにあります。



金属アレルギーのメカニズム

化学変化が起こりにくいチタンや高カラット金合金は、他の金属材料にくらべ金属アレルギーを起こしにくいといわれています。また、口の中はできるだけ同じ材料でそろえた方が、金属の安定性が高くなってトラブル防止につながります。

自然な仕上がりになりたいけれど、 金色の材料を使っても不自然に見えませんか？

ベースに安全性や耐久性の高い金属材料を使い、外から見える部分は自然の色に近いセラミックスを使うなど、素材の特性を最大限に生かして自然で美しい修復をするのが現在の歯科治療の主流です。高カラット金合金で作られたベースは歯ぐきを黒くみせないで、白い歯をより引き立てます。



高カラット金合金とセラミックスによる前歯部の修復例



セラモメタルクラウン

高カラット金合金に健康保険は使えますか？

高カラット金合金は、健康保険の基準を上回っているため、保険の対象にはなりません。安全に半永久的に使えるすぐれた材料です。治療の内容と自分にあった材料について、主治医とご相談のうえ、納得できる材料を選ぶことが大切です。